

プロフィール



名前	真方 文絵
所属部署	東京大学大学院獣医学専攻 獣医繁殖育種学研究室
職種	助教
この研究室に入った日	2017年11月16日
出身地	埼玉県大宮市
趣味	北海道の大自然と遊ぶこと

インタビュー

Q1 現在の仕事の内容を教えてください

ウシを中心とした家畜の健康と疾病，および生殖機能との関わりにおける病態生理学的な研究を進めています。特に，分娩後のウシに多発する子宮への細菌感染により生じた細菌毒素が卵巣機能に及ぼす影響について調べています。

Q2 研究者（教員）になったきっかけは何ですか？

様々な人との出会いです。初めて行った研究はサソリの毒液解析でしたが，ウマの獣医師になりたいと一念発起し，帯広畜産大学でウマの繁殖を学び始めました。その中で多くの人に導かれ，ハノーファー獣医科大学牛病クリニックへの留学を経て，いつの間にかウシ繁殖の研究にどっぷりはまっていました。

Q3 研究室ではどんなことをしていますか？

繁殖を支配する脳内メカニズムを解明し、それを現場へとフィードバックすることを目指して多岐にわたる研究を行っています。基礎研究のためにマウス・ラットを、家畜繁殖への応用のためにウシ・ヤギ・ブタを、さらには野生動物の繁殖制御のためにアシカ・サル・シカを対象としており、様々な動物種における繁殖機能制御法の開発を目指して幅広い研究に取り組んでいます。

ホームページ： <http://www.vm.a.u-tokyo.ac.jp/ikushu/>

東京大学 獣医繁殖育種学教室

Q4 今気になっていることはなんですか？

現在の研究室に着任するまではウシやウマといった大型家畜を相手に奮闘してきましたが、最近は齧歯類のかわいさにメロメロになっています。特に泌乳中のラット親子は本当に可愛くて、いつまでもうっとり眺めています。

Q5 最後に目標をどうぞ

畜産領域における基礎研究と臨床医療の橋渡し研究（トランスレーショナルリサーチ）の実現です。「明確な社会的意義のある目的を掲げつつ、そのために必要な基礎科学を徹底的に追求する」という前多敬一郎先生の教えを心に刻み、新しいことにどんどんチャレンジしていきたいです。